

◆日本共産党創立104周年。歴史の岐路に希望の明日を切り開きます。

休日当番病院・医院

- 10月11日(日)**
- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
 - ◆外科 同樹会苦小牧病院 新中野町 36-1221
 - ◆歯科 のぞみ歯科 のぞみ町 61-4055

10月12日(月) <スポーツの日>

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
 - ◆外科 とよた腎泌尿器科クリニック 元中野町 31-2000
 - ◆歯科 ほっこう歯科八谷矯正歯科クリニック 北光町 71-2580
- 診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。変更への対応ができませんので、ご利用の際は電話でお確かめ下さい。

法律相談

しんぶん赤旗読者のための
親身な相談で定評

10月26日(月)
橋本 祐樹 弁護士
(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党 民主 苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

〒053-0855 苦小牧市見山町2丁目2-6 電話 56-5002 Fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp/>
苦小牧地区委員会のホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

市議会一般質問 富岡議員 学校再編ビジョン策定を追及 あまりにも乱暴な学校統廃合 やめるか延期を



と指摘。「全道でこんなに大規模な統廃合を進めている自治体はあるのか。子どものよい環境をつくるという言いながら、1校も新しい学校を作らない。こんな学校再編ビジョンがあるのか」と追及しました。

苦小牧市教委は、来年3月

末までに、10年間で11の小中学校を統廃合することを決定する計画を発表しています。9月定例市議会の一般質問で、日本共産党の富岡議員は、「2029年から6校、31

年から9校同時並行で統廃合するのはあまりにも乱暴で拙速すぎる。子どもたちのことを考えてやっているとは思えないし、進め方がひどすぎる」

と答えました。富岡議員は、統廃合を丁寧に進めてきた室蘭市を紹介しながら、「子どもたちに寄り添ってがんばっている先生の

意見は、教育部長は、「ここまで大規模な計画を作成しているところはない」と答弁。「将来の子どもたちの教育環境を維持するために、市教委の考え方を示す必要があると判断し、素案として策定した」「策定に当たっては、未就学児および小中学生の保護者を対象にしたアンケート調査を実施し、学校規模や再編に対する考え方を伺うとともに、校長会など協議を重ねながらすすめている」「今後については、保護者や地域の方々の意見を丁寧に関わりながら、学校ビジョンの策定に取り組んでいく」と答えました。

意見はなぜ最初に聞かないで、再編ビジョンをつくったのか」と追及。「子どもたちの安全対策や放課後児童クラブ、特別支援学級の子どもたちの対応はすぐに解決できるものではなく、慣れるまで大変な労力と長い期間を要する。保護者や子どもたち、地域に対して丁寧に説明して進めるべきです」と今年度中の計画策定をやめ、統廃合時期の延期を強く求めました。

- 統廃合検討小中学校
(小学校) 清水小、美園小、糸井小、若草小、苦小牧西小、日新小、豊川小
(中学校) 凌雲中、開成中、啓明中、明野中

*勇払小と勇払中学校は義務教育学校化

市民の足を守るために支援予算組むべき

決算委 富岡議員 バス民間移譲で大幅減便に提起



ただしました。

富岡委員は、23年から25年までの3年間だけでも、バスの便数が39便も減り、「病院には乗り継ぎしないと行けない」と、市民から切実な声が寄せられていると紹介。「当初、路線バスの民間移譲によつて市民の足を奪うと言っていたが、守られていないではないか」と迫りました。

町田雅人副市長は、「路線バスは、学生、高齢者や市民の日常生活を支える重要な手段であり、路線の変更や運転手不足は市民生活に大きな影響がある。利用実態や収支状況を丁寧把握し、公共交通協議会において、基本路線の維持を基本に、利用促進のために取り組んでいく」と答えました。

富岡委員は、「このままでは便数を減らさないバス事業者はやっていけない現状にあり、市民の足を守ることはできない、深刻な状況に直面していると言っているのではないのか。市として燃料高騰や賃金の引き上げ、運転手確保のために当初予算をしっかりと組み、バス事業者と真剣に協議して、支援するべきではないのか」と提案しました。

を重ね意見反映しながら、素案を策定している。校長は、教員一人ひとりと向き合っており、意見や知識には信頼がある」と答えるにとどまりました。後日行った教員のアンケートについて山本俊介教育長は、「今後の再編ビジョンに反映させていきたい。統廃合計画については、学校も老朽化しており、安全性が保てない」とのべ、あくまでも計画の策定期間を見直すことに言及しませんでした。

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対!
外交で平和を
日本共産党

戦闘機より災害で苦しむ人に救援を

憲法生かす会宣伝

高市首相の改憲前のめりを批判



空自衛隊の偵察用無人機が先月墜落しました。トマホークの400発(2500億円)と同様、アメリカの言いなりになって買ってしまったのではないか。エアコンの入っていない小中学校の半分を賄うことができる金額です。軍事費ではなく、災害日本で苦しんでいる人たちにお金をかけるべきです」

●「高市首相は、憲法に国の理想の国家像を書き記すとして改憲に前のめりですが、立憲主義に反するものです。今

月末にも苦小牧港が日米訓練に使われようとしており、世界の平和実現のために反対したい」

●「18歳未満選挙運動禁止は憲法違反と、東京地裁は判決を下しました。おかしいものはおかしいときちつと声をあげることが大事です。若者4人が訴えたもので、日本の未来に明るいものが見えてきました」

2018年2月に、党派を超えてはじめた市内2カ所での宣伝活動は、柳町での101回と合わせて191回。参加者はのべ2650人を超えています。通り過ぎる車から応援のクラクションが鳴らされていました。

カジノ誘致は机上の空論だ

道議会 真下議員

副首都効果 根拠見えず



北海道議会の一般質問で9月18日、日本共産党の真下紀子議員は、『副首都』構想、カジノを含む統合型リゾート施設(IRS)誘致問題などについて、鈴木知事の姿勢をた

真下議員は、鈴木知事が8月末に、札幌を訪れた大阪府の吉村知事の来道機に、連携協定に至る意思決定過程を明らかにするよう求めました。副首都の指定要件や基本方針など詳細が不明ななかでの、多額のインフラ整備による経済活性化を期待する知事に道財政への影響をただし、札幌を中心とした道央圏への一極集中を加速させ、格差拡大につながると追及しました。

鈴木知事は、具体的な検討過程の詳細を示さず、「北海道全体の経済活性化につながる」と答弁。真下議員は、再質問、再々質問で、知事が経済効果の根拠も示していないとし、「市町村や職員の意見を聞き、道議会と十分な議論を重ねて判断すべきです」と訴えました。

鈴木知事は、IRSの「基本的考え方」を改定し、「北海道全土でIRSをつくる」「北海道型IRSの可能性を追求していく」と表明し、「基本構想にむけた検討をすすめる。可能性を追求する」と答え、カジノをあきらめません。

真下議員は、IRSをめぐる道の「基本的考え方」について、「候補地も決まらず、国に要望した要件緩和の見直しもない北海道型IRSは、机上の空論の最たるもの」と指摘し、カジノにしがみつくと鈴木知事の姿勢を批判しました。

真下議員は、「北海道全土で一つのIRSをつくる」とは、道が実施した意向調査に「関心がない」と答えた市町村もいくつかあるなかIRSにされるのか」「合意形成はどうなったのか」と追及。鈴木知事は、全道への波及効果と観光客の滞在を期待すると答えるだけですが、断念を表明しませんでした。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はここ

しんぶん 赤旗

日刊 3497円
日曜版 990円

国会かけある記 いわぶち友



農家の訴えに 応える

先の内閣改造で農林水産大臣になったばかりの築(やな)和生氏。衆議院選挙のときに行ったという発言に驚きました。自分を支持しなかった首長の自治体の道路予算をカットしたというのです。

最初は何を聞かれても「回答を控える」と繰り返していましたが、発言したことを認め、「誤解を招くものだった」とのべました。

招いたのは誤解ではなく、怒りではないでしょうか。しかも自民党幹部からの「格好つけて言ってしまうだけ」と、まるで大したことのない話だと言わんばかりの発言まで飛び出して

います。自民党にとっては当たり前のことなのでしょうか。築大臣は、予算の編成にあたることになりましたが、到底任せることはできないし、大臣の資格がないといわなくてはなりません。

そもそも築氏は裏金議員であり、高市政権の政治と金の問題への無反省が明らかになっていました。高市首相の任命責任が厳しく問われています。

この間、農家のみなさんから切迫した訴えが次々寄せられていきます。昨年とは違い、米価が暴落し、災害が相次ぐもとで、燃油代に補助がほしい、米袋代や資材代、肥料などへの支援がほしいなど、目の前の支援を求める声、来年も生産できる支援を求める声です。こうした農家の訴えにこそ応えるべきです。

5日から臨時国会が始まりました。質問で取り上げたいことがたくさんあります。みなさんの声と実態を示しながら、対策を迫っていきます。

岩淵友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員



遠野市で農業と地域を守る力託してと訴える(4日)

◆「生食用ジャガイモの輸入解禁手続きの中止を求める要請」署名にご協力をお願いします。